

運輸産業の分析に関する調査研究

～ 運輸業・観光業のイノベーションに関する調査研究 ～

資料 1

課題設定

我が国の運輸市場においては、近年、需給調整規制の廃止等の規制緩和が進められてきたが、市場機能が適切に働いているならば、運賃が安くても劣悪なサービスを提供する事業者は、長期的には市場から淘汰されるはずである。しかしながら、モードによっては「安かろう悪かろう」の事業者が新規に参入したり、規制緩和後も引き続き市場で多数の事業者が存続していることも事実であり、運輸市場の淘汰機能が有効に働いていない可能性がある。その一方で、イノベーションを図って生き残りを果たしている事業者もあると思われる。

不況期は経費削減とともに、次の好況期に備えた取り組みにも注力できる機会でもある。運輸業・観光業においても、従来の事業分野にとらわれず、イノベーションを図ってニュービジネスを発想・創出している組織が付加価値や生産性を高めている。

そうした組織・企業の実態を調べることにより、イノベーションを図っている事例から共通項を見出し、運輸業・観光業におけるイノベーションとは何かを探り、フレームワークを示し、着想・開発・事業化について立ち上がりから軌道に乗せるまでの苦労などのプロセスを整理し、行政や運輸・観光企業等にも活用されるように取りまとめる。

内容

【文献調査と事例情報収集】

- 経営革新計画や新連携など公的認定事例
- 新事業創出・ハイサービス等の表彰を受けた事例
- 特許庁データベースから出願企業を検索
- 業界団体、メーカー、ディーラー等からの紹介 など

〈イノベーションとは〉

技術革新という捉え方でなく、プロダクトイノベーション(新たなサービスの開発等)と、プロセスイノベーション(輸送効率を飛躍的に高める方式の開発・導入等)を含むもの。

個別事業者の取り組みを超えて他の企業にも波及し、業界の構造に相当のインパクトをもたらすレベルもあれば、個別事業者とその取引先の範囲で新たな取り組みとして付加価値や生産性が向上するレベルもある。

【実態調査、分析】

- 郵送調査の実施(文献調査・事例情報等より抽出)
- 訪問調査の実施(郵送調査の回答等から選定)
- 訪問調査内容の分析(イノベーションの定義、展開のプロセスなど)

対象業種: 全ての運輸業・観光業

Output

- ・イノベーションの事例データベース(事例集)を作成(タイプ別に分類整理)
- ・運輸業・観光業におけるイノベーションの手引きの作成



成果の活用(Outcome)

収集した既存事例等による事例データベース、訪問調査による事例集及び手引きなどが、運輸・観光事業者等に幅広く活用され、引いては運輸業・観光業の生産性の向上と産業としての成長に資する。

また、行政による、中小の運輸・観光事業者の支援に役立てるものとする。